

# ななかま

良き友は一生の宝なり！

## 行事予定表

6月 3日 運動会  
6月 17日 漢字検定試験 JASL 卒業式  
7月 1日から8月 12日までは夏休みです  
8月 19日から授業が始まります

### 第33回海外子女文芸作品コンクール

作品募集中(海外子女教育振興財団)

### 第36回こども絵画コンクール

作品募集中(住友生命保険相互会社)

テーマは「うれしいな、たのしいな」

締切は8月26日 画用紙は配布します

### 第4回「日本語大賞」

作品募集中(日本語検定委員会)

テーマは「人と人をつなぐ日本語」

小学生は800~1200字、中学生は1200~2000字

締切は8月26日

## 「継続は力なり」

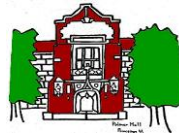
プリンストン日本語学校に通う皆さんは、週日はそれぞれの学校に通い英語で学習し、日曜日は本校に通って日本語で学習しています。日本語が理解できにくい人は日本語で学ぶことがいやになり、英語が理解できにくい人は英語を学ぶことが苦しみになります。本当に頭やお腹が痛くなったりするほどに緊張が重なり、逃げ出したくなることもあるでしょう。

しかし、卒業生のスピーチを思い出してください。先輩たちも一様に「本校に来るのがいやになったり、もう日本語を学ぶことをやめようかと思った時期もあったけれど、学ぶことを続けてきてよかった」(主旨)と言っていました。

今辛いこと(日本語を学ぶこと)から逃げ出して、楽な気持ちになるのか、それとも今は辛いけれどがまんして将来の幸福のためにがんばるのか。「三つ子の魂百まで」と言いますが、少年の頃にがんばれた人は、なぜか大人になっても頑張れるものです。子どもだから逃げて隠れても楽をしても大丈夫と思うのはちょっと違います。今の大変な時に、「絶対乗り越えてみせる」と、自分の将来を信じてがんばれる人は、将来の道もきっと大きく開けてくるでしょう。

偉くなった人々に共通している生き方の一つは、「あきらめない」生活です。素晴らしい人生を手に入れるために、弱い心と戦いながら、自分の将来の輝かしい姿を思い描いて、自分の長所と立場を最大限に生かして、勝ってほしいと切に思います。

## プリンストン日本語学校(補習校部)



平成24年度 No.08号

平成24年 5月27日

文責 長尾重範

七面鳥 鹿もいるなり 初夏の庭  
ハリエンジュ(針槐) 原産はここ と言いたげ

## 退任に際して

歴代校長先生のお手伝いを始めて早くも13年、学校もその間に成長して来ました。現在は、生徒さんの多岐に亘る要望に対応できる幅広い受け入れが可能になっています。ここまでには多くの保護者の方の積極的な参加と自分たちで作る学校という大きな思いがありました。保護者の方のご助力がないと学校はいつでも成長を止めて、後戻りを始めてしまいます。後に続く保護者の方々も恐れずに参加していただきたいと思います。自分達の意見を伝え、多くの方の意見を聞いて何かをやってみる。昨年も非常時に積極的にお手伝いを申し出てくださいました方々があり、とてもうれしく思いました。そしてその方たちには素晴らしい才能がありました。

学校の運営に関して不明なこと、疑問があれば是非問い合わせてください。夫々どのように努力していても信頼関係が無ければ全てがマイナスに働いてしまい、それはとても残念なことです。

今自分を創ってきた27年の滞米を締めくくり、自分が育ってきた日本に戻ります。一部はほっとし、一部は納得できないことも多いと思います。全米でも稀有のプリンストン大学があり、独立戦争時アメリカ史に大きな役割を演じた、独特かつ落ち着いた地域にある日本人学校の事務所に毎日通勤できたことは、私の今後の生活に素晴らしい思い出となるでしょう。

長年に亘り、ご理解を頂きサポートしていただいた方々に感謝申し上げ、これからの学校の将来に期待しています。

2012年5月25日

荒木孝子

## 学級懇談を終えて

保護者の子どもへの思いがひしひしと伝わってくる会でした。わが子の将来の幸福を思う故の、親子共同の戦いの日々は、人生の長さには比べれば短いものですが、ものすごく重要な日々になります。ずっと続く戦いではないので、完全燃焼する心意気でがんばってほしいです。